

国立西洋美術館開館50周年記念事業

ローマ 未来の原風景 by HASHI

ROME: future déjà vu

国立西洋美術館 新館2階 版画素描展示室
2009年9月19日(土)-12月13日(日)



Colosseum II, Rome (コロッセオ II, ローマ) 70-81 AD / 2008 / 2009 ©HASHI 2009

「ローマ 未来の原風景 by HASHI」展 広報資料のお問い合わせ先

〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7 国立西洋美術館 事業広報担当：眞壁・古澤
TEL: 03-3828-5144 FAX: 03-3828-5135
EMAIL: jigyo@nmwa.go.jp (土日祝日を除く9:30~17:30)

作家への取材・お問い合わせ先→HASHI展実行委員会事務局

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-9-1 第二タケビル8階 担当：大槻・伊東
TEL: 03-5367-2620 FAX: 03-3341-4382 EMAIL: info@hashi-ten.com



国立西洋美術館 (東京・上野公園)
The National Museum of Western Art



open museum
国立西洋美術館
OFFICIAL PARTNER EPSON

■ 「ローマ 未来の原風景 by HASHI」 展覧会概要

「ローマは偉大であるがゆえに人々から愛されたのではない。人々から愛されたがゆえにローマは偉大になったのだ」——イギリスの作家 G. K. チェスタートンの名言のとおり、都市のなかの都市ローマは時代と国境を超えて多くの芸術家たちを引き寄せ、ローマに捧げられた芸術作品は「永遠の都」への憧れを一層かきたてます。ゲーテ、スタンダール、アンデルセン、プッチーニ、ウィリアム・ワイラー、フェリーニ……ローマの魅力を作品にうたった創造者たちの名を挙げれば、優に一冊の本ができあがるでしょう。

この展覧会は、ニューヨークを拠点に世界で活躍している HASHI こと橋村奉臣氏による、都市ローマを題材とした作品群を紹介します。広告写真からファイン・アートまで広い領域におよぶ橋村氏の意欲的な活動に一貫しているのは、写真というメディアの本質ともいえる“時間”の概念に挑戦する姿勢です。HASHI の名を世界に知らしめた Action Still Life (アクション・スティール・ライフ) の写真作品は、十万分の一秒という極小の時間を超高速の光によって鋭く捉えたものでした。それらの作品は、「一瞬の永遠」という作者自身の言葉に集約されているとおり、人間の知覚能力をはるかに超えて極限まで凝縮された一瞬のうちに展開する、限りなく豊かで驚異に満ちた形の世界を私たちに示しています。

一方、今回の展覧会「ローマ 未来の原風景 by HASHI」で紹介される作品群は、“時間”の概念と写真表現の可能性に関する橋村氏のもうひとつのアプローチから生まれたものです。それは作者自身が撮影したモノクロームの写真を焼き付ける過程でさまざまな技法を施した、いわば写真と絵画的手法の融合による一種のミクストメディア作品です。橋村氏はこの独自の手法を HASHIGRAPHY (ハシグラフィ) と命名し、1987 年以来制作に取り組んでいます。

作者によれば、「未来の原風景」と称したこれらの作品群を貫いているコンセプトは、いま私たちの眼に映る 21 世紀の光景を千年後の未来に再発見するというものです。作品の出発点となる写真には、二千年を超える都市の歴史が刻印されたローマの遺跡や街並みと、現在この都市に暮らす人々の営み、そして憧れをもってこの都市を訪れる人々の姿が重なり、遠い過去から現在にいたる悠久の時間が凝縮されています。橋村氏はこうした“過去”と“現在”が交錯するイメージをみずからカメラに捉え、集中力を傾けた暗室内の作業によって、そのイメージに彼自身の生の痕跡を新たな“現在”として刻みつけます。このようなプロセスを経て完成する作品は、それ自体があたかも遠い過去の遺物であるかのような装いを帯び、私たちの思いを現在から遠い過去へ、そして遙かな“未来”へと導きます。これらの作品が、懐かしさに似た不思議な感覚をよびおこすのは、私たちの現在、私たちの生きる時間が永遠の時の中の一瞬であることを、あらためて思い起こさせてくれるからに違いありません。

「ローマ 未来の原風景 by HASHI」は、この展覧会のために撮影・制作された最新作を中心とする約 50 点により構成されます。橋村氏の作品は、汲めども尽きぬ永遠の都ローマの魅力を生き生きと映し出すとともに、私たちを果てしない時間の旅へと誘います。また、国立西洋美術館において同時に開催される企画展「古代ローマ帝国の遺産 一栄光の都ローマと悲劇の街ポンペイ」とあわせてご覧いただくことにより、古代文明の遺産と都市の長い歴史が、今日のアーティストの独創的な活動を通じて新たな価値を見出されていることを実感していただけるでしょう。

(国立西洋美術館 学芸課長 村上博哉)

■作家プロフィール

HASHI

本名、橋村奉臣 (はしむらやすおみ)。1945年大阪府茨木市生まれ。1968年渡米、1974年ニューヨークに HASHI STUDIO INC. を設立。アメリカをはじめとする広告代理店 200社以上を通じ、世界の優良企業 500社以上に作品を提供してきた。

同時に、ファイン・アートの分野でも独自の視点でオリジナリティーの高い作品を次々と制作。1985年にはニューヨークの国連で、国連大学記念切手発行限定アートとして、

「Rainbow in Space-宇宙に架かる虹」が選ばれた。「Rainbow in Space」は、後にタイトルが世界 7ヶ国語に翻訳され、各国語のポスターが制作された。なお同限定アートには、過去において、HASHI の他に、ダリ、ミロ、キース・ヘリング、アンディー・ウォーホルなど美術史に残るアーティストも参画している。その他の HASHI の代表的な作品としては、『エスケイア』誌 50周年記念ポスター「喜び-Cheers-」、「フォー・ストーン-Four Stones-」、「バッファローの夢-*Buffalo Dream*-」、「ネイティブ・アメリカン」シリーズ、HASHIGRAPHY 世界の『未来の原風景』シリーズ、Action Still Life 『一瞬の永遠』シリーズなど。2008年には東京にも拠点を置き、日本でのプロジェクトもスタート。



HASHI の代表的な作品シリーズ

Action Still Life (アクション・スティルライフ)

Still Life (静物) が肉眼では確認出来ないほどの一瞬に見せる躍動的な姿を、十万分の一秒とも百万分の一秒とも言われる超高速の光で捉えた作品。「46億年の地球の歴史から見れば、ひとつの人生は Action Still Life を撮影する際の超高速ストロボ程の瞬間の出来事。時は相対的なもので、どんなに極小に切り取っても、それぞれの瞬間の中には、数えきれないドラマや出来事が濃縮されて溶け込んでいる。」と HASHI は話す。この作品群には、『一瞬の永遠性』に馳せた HASHI の思いが込められています。

HASHIGRAPHY (ハシグラフィー)

写真と絵画の手法を融合させた、HASHI オリジナルの表現方法。撮影後、独自の方法で、意図的に「年月を越えたような風合い」を醸し出しています。全ての HASHIGRAPHY に一貫しているのは、「今から千年後に発見された、21世紀の光景」という、時間を超越したコンセプト。HASHI が「現代に生きる人には、“もし自分が千年後に存在していたら”と空想しながら鑑賞してほしい」と話すこの作品群は、不思議で雄大な時間軸の存在を再認識するきっかけを与えると同時に、鑑賞者の心に懐かしさと未知の世界を見るような幻想的な想いを抱かせます。

●個展

- 2009年 『ローマ 未来の原風景 by HASHI』展 国立西洋美術館 開催予定
- 2006年 『一瞬の永遠』 & 『未来の原風景』展 東京都写真美術館
- 1989年 『NEW YORK STILL LIFE ART』展 西武有楽町アートフォーラム
- 1985年 『STILL COME ALIVE ニューヨークアーティスト』展 ミキモト・ギャラリー
- 1985年 『Rainbow in Space-宇宙に架かる虹』展 国連 ニューヨーク

●グループ展

- 1998年 『写真と関連ビジュアル・アートの国際展覧会』展 高雄市立美術館 台湾
- 1997年 『写真と関連ビジュアル・アートの国際展覧会』展 台北チャン・カイシエク記念ホール 台湾
- 1989年 『ニューヨーク 5』 ニューヨーク・アート・ディレクターズ・クラブ

●出版

- 『ローマ 未来の原風景』・Roma future déjà vu・(2009年9月出版予定)
- 『一瞬の永遠』・a moment' s eternity・(2006年)
- 『未来の原風景』・future déjà vu・(2006年)
- 『十万分の一秒の永遠』HASHI の仕事をめぐって 立松和平 著/写真: HASHI 【橋村奉臣】(2006年)
- 『スティル・ライフ』(1989年)
- 『オン・ビルマ』(1989年)
- 『アメリカン・インディアン』(1989年)

■作家のメッセージ

『ローマ 未来の原風景 by HASHI』について

HASHI 〈橋村奉臣〉

「ローマは一日にしてならず」「すべての道はローマに通ず」……。その長い歴史から、ヨーロッパ人の精神的な拠り所と言われているローマ。日本に生まれ、40年以上アメリカで過ごしてきた私にとっても、西洋文明の原点であるその地を体感することは、何か特別な感慨をもたらすものです。ローマでは、あらゆる場所で古（いにしえ）を感じ、古きローマ人たちが創った建造物には、当時の人の想いや魂が今も鮮やかに生き長らえているように感じられます。「どれだけの人が（現代では遺跡と呼ばれる建築物の）建設に携わったのだろう？一日の作業を終えた後、建設に従事した人たちはどんな時間を過ごしていたのだろう？愛する伴侶が居て、家族が居る日常の風景はどんなものだったのだろう？」…そんなことを想像しながら不思議な心地を味わうのは、私だけに限ったことではないでしょう。

私はこれまで主に二つの時間軸で作品を表現しようとして来ました。

一つ目の時間軸は、Action Still Life（アクション・スティルライフ）と呼ぶ作品群の中に存在しています。Action Still Lifeとは、Still Life（静物）が肉眼では確認出来ないほどの一瞬に見せる躍動的な姿を、十万分の一秒とも百万分の一秒とも言われる超高速の光で捉えた作品群です。人の一生を100年と想定したとしても、46億年の地球の歴史、4～5百万年前の人類の歴史から見れば、人生はAction Still Lifeを撮影する際の超高速ストロボ程の瞬間の出来事です。時の長さはとても相対的なものです。どの視点から切り取ったとしても、それぞれの瞬間の中には、やはり数えきれないほどのドラマや出来事が濃縮されて溶け込んでいる。この作品群には、そんな『一瞬の永遠性』に馳せた思いが込められています。

そして二つ目の時間軸を表現するのが、今回の展覧会でお見せするHASHIGRAPHY（ハシグラフィー）です。同作品群は、「今から千年後に発見された作品」という時間を超越したコンセプトを基に、写真と絵画の手法を融合させて創作しています。現代の風景を千年後の未来の視点から眺めることを想定したこの作品を通じて、鑑賞者の方々には、雄大な時間軸の存在を再認識したり、不思議な懐かしさと未知の世界への期待を感じたり、未だ見ぬ世界へタイムスリップする感覚を味わって頂ければ幸いです。

ローマの遺跡は見方によっては「過去の遺物」ですが、今回、あらためて被写体として遺跡を捉えてみて、それらが未だ「遺物」ではなかった頃の人々の息吹や足跡を感じました。古の人々の熱い思いと愛があったから、今日の我々が生まれてこられた。そして、現在（いま）生きている我々は、未来のために何を成すべきなのか。そんなことを考えながらの創作でした。

■開催概要

■ 展覧会名： ローマ 未来の原風景 by HASHI

■ 会 期： 2009年9月19日(土)～12月13日(日)

■ 会 場： 国立西洋美術館 新館2階 版画素描展示室

〒110-0007 東京都台東区上野公園 7-7

※交通案内

JR 上野駅下車(公園口) 徒歩1分

京成電鉄京成上野駅下車 徒歩7分

東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅下車 徒歩8分

※駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮ください。

■ 休 館 日： 月曜日

(ただし、9月21日、10月12日、11月23日は開館、10月13日[火]、11月24日[火]は休館)

■ 開 館 時 間： 午前9時30分—午後5時30分(金曜日は午後8時まで)

※入館は閉館の30分前まで

■ 観 覧 料：

一般420円(210円) 大学生130円(70円) ()内は20名以上の団体料金

※高校生以下及び18歳未満、65歳以上、心身に障害のある方および付添者1名は無料。

※企画展「古代ローマ帝国の遺産」展観覧券、または常設展観覧券でご覧いただけます。

※企画展は別途観覧券が必要です。

■ 主 催： 国立西洋美術館

■ 協 賛： EPSON

■ 協 力： 西洋美術振興財団

■ 美術館ホームページ： <http://www.nmwa.go.jp/>

■ 展覧会ホームページ： <http://www.hashi-ten.com>

■ 「ローマ 未来の原風景 by HASHI」展についてのお問い合わせ先：

ハローダイヤル 03-5777-8600

■ 同時開催： 国立西洋美術館常設展(本館および新館)

企画展「古代ローマ帝国の遺産」(企画展示館)

「ローマ 未来の原風景 by HASHI」展 広報資料のお問い合わせ先

〒110-0007 東京都台東区上野公園 7-7 国立西洋美術館 事業広報担当: 眞壁・古澤

TEL: 03-3828-5144 FAX: 03-3828-5135 EMAIL: jigyo@nmwa.go.jp (土日祝日を除く9:30～17:30)

作家への取材・お問い合わせ先→HASHI展実行委員会事務局

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-9-1 第二タケビル8階 担当: 大槻・伊東

TEL: 03-5367-2620 FAX: 03-3341-4382 EMAIL: info@hashi-ten.com

国立西洋美術館
『ローマ 未来の原風景 by HASHI』
2009年9月19日(土)～12月13日(日)

■ 主な出展作品 (建立年 / 撮影年 / ハシグラフィー制作年)

	<p>1.Colosseum II, Rome 70 - 81 AD / 2008 / 2009</p> <p>コロッセオ II、ローマ 70 - 81 AD / 2008 / 2009</p>		<p>7.Caracallan Baths XIII, Rome 212 - 7 AD / 2008 / 2009</p> <p>カラカラ浴場遺跡 XIII、 ローマ 212 - 7 AD / 2008 / 2009</p>
	<p>2.Neptune,Pietro Bracci, Trevi Fountain, Rome 1761 / 2008 / 2009</p> <p>ネプチューン、 ピエトロ・ブラッチ、 トレヴィの泉、ローマ 1761 / 2008 / 2009</p>		<p>8.Temple of Saturn, Roman Forum, Rome 2nd half of 1st C. AD /2008/2009</p> <p>サトルヌス神殿、 フォロ・ロマーノ、 ローマ 2nd half of 1st C. AD /2008/2009</p>
	<p>3.Panthenon II, Piazza della Rotonda, Rome 2nd C. AD / 2008 / 2009</p> <p>パンテオン II、 ロトンダ広場、ローマ 2nd C. AD / 2008 / 2009</p>		<p>9.The Mouth of Truth, Rome 4th C. BC / 1987 / 2004</p> <p>真実の口、ローマ 4th C. BC / 1987 / 2004</p>
	<p>4.Café Patrons II, Trastevere, Rome — / 2008 / 2009</p> <p>カフェのパトロン II、 トラスタヴェレ、ローマ — / 2008 / 2009</p>		<p>10.The Base of the Antonian Column, Vatican City 161 AD / 1987 / 2006</p> <p>アントニヌス・ピウス帝 記念柱の基壇、ヴァチカン 161 AD / 1987 / 2006</p>
	<p>5. Old Gentleman Waiting for a Bus, Corso Vittorio Emanuele, Rome — / 2008 / 2009</p> <p>バスを待つ老紳士 ヴィットリオ・エマヌエ ーレ大通り、ローマ — / 2008 / 2009</p>		<p>11. The Appian Way I, Rome 312 BC / 2008 / 2009</p> <p>アッピア街道 I、ローマ 312 BC / 2008 / 2009</p>
	<p>6.Young Couple at Colosseum, Rome — / 2008 / 2009</p> <p>コロッセオの 若いカップル、ローマ — / 2008 / 2009</p>		<p>12. St. Peter's Square III, Vatican City 1656-67 / 1987 / 2004</p> <p>サン・ピエトロ広場 III、 ヴァチカン 1656-67 / 1987 / 2004</p>

